

内閣総理大臣

安倍 晋三 殿

第 20 回 アジア 競技 大会 の
開 催 に 対 す る 支 援 の 要 請



平成 28 年 10 月

愛 知 県
名 古 屋 市
名 古 屋 商 工 会 議 所
一 般 社 団 法 人 中 部 経 済 連 合 会

本年9月25日に開催されたアジア・オリンピック評議会（OCA）総会において、愛知・名古屋が第20回アジア競技大会（2026年開催予定）の開催都市として決定されました。

この大会は、インドのネルー初代首相の提唱により、第二次世界大戦後まだ間もない1951年、戦禍によって引き裂かれたアジア諸国の絆を、スポーツを通じて取り戻し、アジアの恒久平和に寄与したいとの願いを込めて、我が国を含む11か国の参加のもと、第1回大会がニューデリーで開催されました。

以来、スポーツにより友情を育み、多様性を認め合うことを通じて、国際平和に寄与する一大イベントとなっています。

2026年開催予定の愛知・名古屋大会は、スポーツ界にとって2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の次なる大きな目標となり、拡大するアジアとの交流を一層深める機会となるなど、日本全国にとってもたいへん意義のある大会です。

愛知県及び名古屋市では、アスリートファーストの観点を踏まえながら、簡素で質素な、そして機能的で合理的な大会とし、国際的なスポーツ大会の「愛知・名古屋モデル」を作るなど、開催準備に全力で取り組んでまいります。

アジア競技大会は、アジア最大のスポーツの祭典であり、日本全国にも大きな効果をもたらす大会であるため、大会成功に向けては、ラグビーワールドカップ2019など他の大規模国際スポーツ大会と同様、国の積極的な関与をお願いします。

つきましては、次の項目について、国の御支援を要請いたします。

- 1 政府として大会を運営する組織委員会に協力する旨の閣議了解
- 2 各参加国代表団の入国の自由や関税への配慮などの政府保証
- 3 組織委員会への政府関係者の参画と国の職員の派遣
- 4 競技会場の整備・改修及び大会運営に対するスポーツ振興くじ（toto）や宝くじによる支援

平成28年10月

愛知県知事

大村 秀章

愛知県議会議長

鈴木 孝昌

名古屋市市長

河村 たかし

名古屋市会議長

加藤 一登

名古屋商工会議所会頭

岡谷 篤一

一般社団法人中部経済連合会会長

豊田 鐵郎

<参考>

1 大会概要

○オリンピックに次ぐ参加選手数で、アジア地域最大のスポーツの祭典

○アジア・オリンピック評議会（OCA）主催で、加盟する45の国と地域が参加

競技種目：オリンピック28競技の他、セパタクローなど独自競技を加えた

36競技(追加競技を除く)を想定（2018年ジャカルタ大会）

参加者数：選手、大会関係者約1万5千人を想定

2 過去大会実績

回	開催年	開催都市	開催国	参加国 及び地域	参加選手数
1	1951年	ニューデリー	インド	11	489人
3	1958年	東京	日本	16	1,820人
12	1994年	広島	日本	42	6,828人
15	2006年	ドーハ	カタール	45	9,520人
16	2010年	広州	中国	45	9,704人
17	2014年	仁川	韓国	45	9,501人
18	2018年	ジャカルタ	インドネシア		
19	2022年	杭州	中国		
20	2026年	愛知・名古屋	日本		